

- ・追加・変更箇所は**赤字**で表記。改訂日付は最新のみを記載。
- ・このメモから、ご自身の必要箇所を楽譜に転記するなど有効活用して下さい。

初版 2024/08/20

改訂 2025/04/01

【日本丸船歌】 変更と注意事項

<曲を通じて>

【演奏方針】

- ・3 番は割愛（従前と同様）。よって構成は、1 番 2 番で 3「に飛んで 4 番～。

【曲想】

<全般事項>

- ・船乗りが船上で歌っているように勇壮に男らしく。

ブレスが長すぎて語尾が消える。「雄姿ぞ」の次の「にっぽん」を言い直すイメージ。

日本語の意味を届ける。歌詞は単に文字の羅列ではない。聴衆と会話ができるくらい語り掛けて。

- ・**12～、28～、**はスラーではなく、一音一音**母音を粒立てて**勇ましく歌う。

以前、伴奏をアルペジオ風アレンジした時の癖が抜けてない。今回は楽譜通り、伴奏もリズムを刻む予定なので、それに合わせた歌い方とする。

- ・7 と 11、26 と 30 小節 など、フレーズの出だしの音程の違いを正確に。歌い癖を修正するよう。

「E」「G」「G」と「E」「F」「G」の違いをきちんと歌い分けること。

<個別事項>

- ・21 小節 T1T2 1 拍目は「A C」。（「A B」と歌いがち）

- ・「ん」は開口音なので**正しく発音**。